

# たつのまち 議会 だより

No.  
81

日本のど真ん中  
信州辰野町



Center of Japan

36° 00' 00" N 138° 00' 00" E



花桃 樋口 万五郎 (いいまちたつの知らせ隊)

## 第6次総合計画 前期基本計画 初年度予算可決!

- |              |    |                  |    |
|--------------|----|------------------|----|
| 3月定例会報告      | 2  | 女性タウンミーティング中止に伴う | 11 |
| 現地視察調査       | 5  | 参加予定者からのご意見      |    |
| 委員会レポート      | 6  | 議会ペーパーレス検討会      | 12 |
| 第4次議会活性化委員会の | 10 | 一般質問             | 12 |
| 活動報告         |    | 地域おこし協力隊の皆さんからの声 | 18 |



辰野町議会

3月定例会  
3月1日～  
3月18日

# 令和3年度「未来共創(共に創る)予算」

～一人ひとりの活躍が作り出す住み続けたいまち～

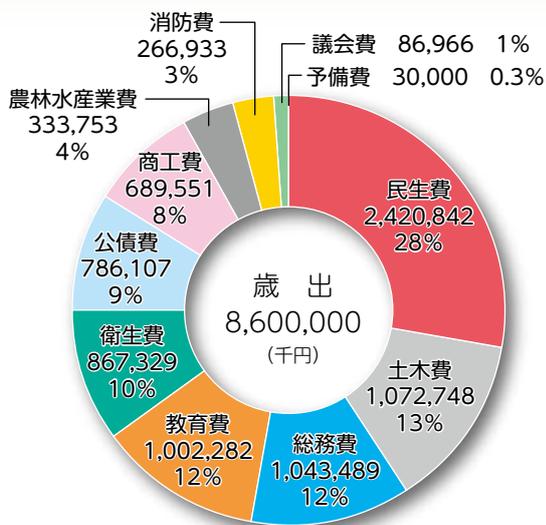


第6次総合計画前期基本計画がスタート！

**歳入** 町税収入は20億3,211万円 3億3,201万円減 (前年度比14%減)

○一般財源不足分は財政調整基金取り崩しと町債発行等で補う。

<b>歳出</b>	<b>一般会計</b>	<b>86億円</b>	(前年度比 6,000万円減 0.7%減)
	<b>特別会計</b>	<b>94億2,877万円</b>	(前年度比 1億3,210万円増 1.4%増)
	<b>総計</b>	<b>180億2,877万円</b>	(前年度比 7,210万円増 0.4%増)



令和3年度一般会計歳出目的別内訳

## <主な歳出と質疑>

●**議会費** 前年度比 658万円増

◇議員補欠選挙により2名増ほか



●**総務費** 前年度比 4,807万円増



◇庁舎エレベーター基本設計費

◇UIJターン就業・創業移住支援

◇町民憲章30周年記念事業ほか

問 集落支援員の課題解決費支援は。

答 よりあい事業補助金他で対応。

問 たつのパークホテル他改修工事の将来計画は。

答 おおまかな個別計画はあるが、補助金の裏付けがなく進んでいない。

問 地域おこし協力隊員の起業補助は。

答 協力隊に起業支援補助金がある。

問 マイナカードの普及は。

答 付加価値を付ける検討委員会を立ち上げる。

意見 女性・若者活躍推進事業等は交付金終了後の継続的な取り組みの展望が必要。

●**民生費** 前年度比 518万円増



◇中央保育園屋根塗装工事ほか

問 保育園での消毒費用は。

答 消毒剤は消耗品費と地方創生交付金で購入、消毒業務は保育士が時間内に行う。

問 中央保育園屋根の塗装工事内容は。

答 春先から8月末まで屋根全体を3回塗装する。

●**衛生費** 前年度比 4,428万円減



◇不妊、不育症の助成ほか

問 造血細胞移植者のワクチン再接種助成は。

答 1名分10万円。

問 不育症治療助成事業の内容は。

答 妊娠中の胎児養育治療に経済的負担を軽減。

意見 野良猫の糞害増加防止に補助をしては。

●**農林水産業費** 前年度比 5,506万円減



◇空き地バンクへの取り組み

◇ドローン活用で松枯損木の被害調査ほか

問 農業振興センターやたつの営農にどこまで補助していくか。

答 農業振興センターは農協と町で負担金を継続。たつの営農は法人のため町交付金ゼロを目標とする。

意見 たつの営農は公的機能を持ち、農地維持のために補助が必要では。

問 学校給食に地元農産物の利用向上は。

答 価格差を補填することが課題。

問 かやぶきの館、土恋処の修繕計画は。

答 多額の費用が掛かり調査費すら計上できず、長寿命化計画はできていない。

意見 宿泊の部屋半分をリモートワークで貸し出しは。

**問** 伊那谷アグリノベーション推進協議会参加とは。  
**答** 町と信大農学部が連携し林業のマツタケ研究や松枯損木調査を行う。

### ●商工費 前年度比 2億901万円増



- ◇新型コロナ関連の商工業振興資金預託金
- ◇旧商工会館リノベーション、DIYなどで商店街にサテライトオフィス誘致支援
- ◇地域おこし企業人交流プログラムの活用

**問** サテライトオフィスの候補は。  
**答** 首都圏のデザインやIT部門。リスク分散や地域課題解決をビジネスにする企業や二地域居住や事務所を希望する企業。  
**問** サイクルツーリズムの展開は。  
**答** 自転車で回り地元で消費してもらう着地型観光。町民も参加し健康増進に役立てる。

### ●土木費 前年度比 1億6,670万円減



- ◇道路メンテナンスで橋梁点検と修繕工事ほか
- 問** 町内道路網の将来像を描く道路網・路線計画の策定は。  
**答** コロナの影響で3年度まで継続。
- 問** 河畔林整備事業は。  
**答** 町管理の準用河川は県補助、河床整備は町の単費で行う。

### ●消防費 前年度比 2,812万円減



- ◇上伊那広域消防負担金
- ◇消防団ヘダンプ型と中小型軽トラック各1台配備
- 問** 地区の防災倉庫設置補助は。  
**答** 宝くじ助成、町防災資機材整備補助金と寄り合い事業補助金で対応。

### ●教育費 前年度比 7,197万円減



- ◇町民会館のWi-Fi環境整備
- ◇小中学校と公共図書館の連携システム導入
- 問** 西小学校樹木伐採・剪定作業の内容は。  
**答** 第一体育館東のヒノキと玄関前のヒマラヤスギなど。
- 問** 荒神山エリアマネジメント会議の内容は。  
**答** 荒神山全体を考える会議で年3回予定。町体協他10人を予定。

### ●公債費 前年度比 3,729万円増



- ◇起債元金償還金、起債利子償還金

### ●予備費 前年と同額

## 臨時会 (1月22日・2月22日)

### ●令和2年度一般会計補正予算 (第14号) (320万円追加)

- ◇新型コロナワクチン接種体制の確保事業

### ●令和2年度一般会計補正予算 (第15号) (5,766万円追加)

- ◇商工会テイクアウト・デリバリー応援事業  
・各戸配布の冊子作成費ほか
- ◇新型コロナワクチン接種体制確保事業  
・ワクチン接種予約システム委託費ほか

**問** 予約システムの内容は。  
**答** 受付は電話、LINE、Web。システムは民間へ委託。  
**意見** 接種後の副反応に対して万全を。  
(後に、LINE予約は個人情報保護の観点から見合わせ)

### ●令和2年度辰野南小学校長寿命化改修工事 (建築) 請負契約

- (4億645万円)
- ◇一般競争入札 (応札4社)
- ◇契約者 (株)岡谷組 辰野営業所

**問** なぜ、建築に建設と電気工事を含むか。  
**答** 校舎一棟全体工事のため建築に全て含む。  
**問** なぜ、町外業者なのか。  
**答** 町内だけでは基準を満たす業者が少ないため、町内に支店を置く業者も対象とした。

### ●令和2年度辰野南小学校長寿命化改修工事 (機械設備) 請負契約

- (契約金額 6,710万円)
- ◇一般競争入札 (応札1社)
- ◇契約者 (有)にいむら設備工業
- ◇内容 厨房、トイレ、給湯設備ほか



改修工事中の辰野南小学校

# ～新型コロナに負けない!ガンバルみんなの応援パッケージ～



令和3年度一般会計補正予算(第1号)(1億2,820万円追加)

●感染拡大防止策と医療提供体制の整備

- ◇ワクチン接種移動支援(1,300万円) ・高齢者(65歳以上)のタクシー移動支援
- ◇集会施設感染予防対策(1,000万円) ・地区公民館等の施設改修費一部補助(上限50万円)

●雇用の維持と事業の継続

- ◇ガンバル飲食店等応援金(3,000万円) ・コロナ感染で前々年比30%以上売上減。30万円補助。
- ◇商工業振興資金利子補給(1,500万円) ほか

3月定例会報告

現地視察調査

委員会レポート

議会活性化委員会

女性タウンミーティング

議会ホームページ検討会

一般質問

地域おこし協力隊

## <その他の審査結果>

付議事件名	主な内容	本会議審査	
辰野町条例の一部改正	国民健康保険条例	新型コロナウイルス感染症の定義変更	可決(全員)
	上水道事業給水条例	上水道運営審議会の委員定数減(16人→13人)	可決(全員)
	公共下水道条例	運営審議会委員の人数指定をやめ、識者の委嘱者を見直し	可決(全員)
	使用料条例	指定管理者導入で「たつの未来館」追加	可決(全員)
	介護保険条例	(委員会レポートに掲載)	可決(全員)
	指定地域密着型サービス事業の条例	(委員会レポートに掲載)	可決(全員)
	指定地域密着型介護予防サービスの条例	(委員会レポートに掲載)	可決(全員)
令和2年度辰野町一般会計補正予算(第16号)	障害者自立支援給付事業、指定管理料(たつのパークホテル、かやぶきの館)、荒神山体育館改修、南小長寿命化改修ほか	可決(全員)	
令和2年度辰野町下水道事業会計補正予算	資本的支出増(辰野中継、平出中継ポンプ場の耐震診断費)	可決(全員)	
令和2年度辰野病院事業会計補正予算	運転資金借入れ(特別減収対策起業債 1億3,000万円) 問 国からの交付税による補填はあるか。 答 新型コロナによる減収で8割が交付税措置。	可決(全員)	
令和2年度辰野町介護保険特別会計補正予算	保険給付費増(要介護認定者増、高額介護サービス費増等)	可決(全員)	
債権の放棄	(委員会レポートに掲載)	可決(全員)	
民事調停の中立	敦賀市民間最終処分場の焼却灰処分に伴う行政代執行費用	可決(全員)	
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	任期満了による推薦(再)小野玲子氏、(新)佐々木由利氏	可決(全員)	
辰野町第6次総合計画基本構想の変更	「町の創生総合戦略」と関連付け「林業」を追加	可決(全員)	
辰野町第6次総合計画前期基本計画	令和3年度から5年間の第6次総合計画前期基本計画を策定	可決(全員)	

## 「私たちはこのように討論し、判断しました。」

【請願・陳情等について】		委員会 審査	本会議 採決	意見書 提出	
陳情 (第1号)	国土交通省告示第98号の履行に関する陳情書 (提出者) 長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命 上伊那支部長 宮下 治	総務 産業	趣旨 採択	趣旨 採択 (全員)	なし
陳情 (第2号)	最低制限価格の設定に関する陳情書 (提出者) 長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命 上伊那支部長 宮下 治	総務 産業	趣旨 採択	趣旨 採択 (全員)	なし
陳情 (第3号)	耐震診断・耐震改修に関する陳情書 (提出者) 長野県建築士事務所協会 会長 土屋長命 上伊那支部長 宮下 治	総務 産業	趣旨 採択	趣旨 採択 (全員)	なし
陳情 (第4号)	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める請願書 (提出者) 上伊那地区労働組合連合会 議長 宮澤芳博 【原案賛成 瀬戸】最低賃金の地域格差をなくし全国一律最低賃金とし、ただちに1,000円以上に引き上げ1,500円を目指す。また、社会保険料の事業者負担分を減免する等最低賃金の引上げをしやすいするために、中小企業に対して国の支援拡充を行うことが必要と考え、不採択に反対。 【原案反対 池田】昨年3月議会で不採択の内容とほぼ同じ。中小企業支援で最低賃金引き上げは理解できるが、長野県時給849円を最低1,500円以上目指すことや全国一律要求は、東名阪圏と地方圏の物価水準差から現実離れしている。最低時給は毎年引き上がっているため、委員長報告の不採択に賛成。	総務 産業	不採択	不採択 (賛成3) (反対8)	なし

(賛否の判断 陳情第4号) ●賛成者 吉澤、向山、瀬戸

●反対者 舟橋、松澤、山寺、樋口、池田、津谷、矢ヶ崎、小澤

## 総務産業常任委員会



中の橋

篤原橋



今村

下諏訪辰野線



桜町

国庫補助道路メンテナンス事業中の橋補修工事	7,000万円
社会資本整備総合交付金事業町道14号線工事	3,500万円
国庫補助道路メンテナンス事業篤原橋補修工事	3,000万円
公共下水道管渠工事(辰野北部(今村)・沢底)	9,900万円
企業誘致等環境整備工事(桜町地区宅地造成)	2,500万円
県道下諏訪辰野線改良関連事業宅地造成工事	1,500万円

## 現地調査

# 令和3年度はどんな事業があるの？

今年度実施予定の主な事業箇所を視察し、いずれも全員一致で認定すべきものと決しました。

## 福祉教育常任委員会



中央保育園



町民会館Wi-Fi設備



町民会館大会議室



中央保育園 屋根塗装工事	1,910万円
町民会館大会議室 照明設備改修工事	187万円
町民会館 Wi-Fi設備設置工事	300万円

## 特別会計予算審査

### ◆上水道事業会計予算

総額 72,327 万円

前年度比 505 万円増

町内全ての上水道、簡易水道事業等が統合された予算。

**問** キャッシュフローで純利益 260 万円となっているが、これで順調と言えるのか。

**答** 実績では近年 2 千～3 千万円の利益がある。予算は安全を見て利益が少なくなっている。

**問** 今後の主な施設改修の見通しは。

**答** 「井出の清水」だけで、1,500 トンくらいのタンクを造らなければいけないが、5～6 億円かかる。将来の料金改定の必要性など、経営の見える化を進める。



井出の清水

### ◆下水道事業会計予算

総額 180,630 万円

前年度比 4,945 万円増

町内の特環、農業集落排水、公共下水道事業を統合した予算。

**問** ポンプの点検頻度は。

**答** マンホールポンプ、水中ポンプは、目安として 8,000～10,000 時間で分解点検している。

**問** 一般会計からの繰り入れは、交付税で措置される基準内で収まっているか。

**答** 概ね公共下水道事業は基準内で収まっているが、特環、農業集落排水事業は厳しくなっている。



公共下水処理場

### ◆地域情報告知システム特別会計予算

総額 1,525 万円

前年度比 60 万円減

後継システムの検討については、民間を含めて情報伝達手段が大きく変わっている状況を踏まえ、委員会を設けて検討しているとの説明があった。

**意見** 低所得世帯への使用料減免制度の周知を、丁寧にしてほしい。



地域情報告知システム端末

\* 上水道、下水道事業会計予算は、収益的支出・資本的支出の合計額。

特別会計の 3 議案については、全員一致で可決すべきものと決しました。

## 陳情審査

★建物の設計・管理業務委託について、国基準に基づいた算定を求める陳情

★設計・管理業務の入札・見積に当たり、予定額の 90%以上の最低制限価格設定を求める陳情

★耐震診断・耐震改修設計について、国基準に基づく算定を求める陳情

陳情の趣旨は理解できるが、町の入札等の業務は適正に行われており、ただちに陳情どおりの対応を町に求めることには無理があるとして、全員一致で趣旨採択にすべきと決しました。



## 陳情審査

### ★最低賃金改善と中小企業支援拡充を求める陳情

趣旨は、最低賃金を全国一律に是正することと抜本的に引き上げることは、貧困をなくす福祉政策であり、購買力を高めて地域経済をまもる経済政策でもあるので、中小企業支援の拡充と共に、国への意見書決議を求めるもの。

(陳情に反対の意見)

- ・町会計年度職員の時給賃金は850円から860円で、これを1,500円に上げれば町はつぶれる。
- ・1,500円に急激に上げるのは、中小企業の経営を圧迫するのではないか。
- ・東京と地方では生活費に差があり、最低賃金を一律にしていくのは無理がある。

(陳情に賛成の意見)

- ・中小企業支援と合わせての陳情で、自治体には交付税等で措置されるべきだ。1,500円の根拠は、科学的に裏付けられている。
- ・自民党の中にも企業の内部留保500兆円に課税し、それを最低賃金改善に充てるべきという議論もある。

賛成1、反対4で、不採択にすべきと決しました。



## お知らせ

辰野町議会は請願・陳情に関する取扱い基準を変更いたしました。詳しくは議会ホームページをご覧ください。



## 町長への要望

### ■公共施設の長期管理計画の策定推進を

町にも数多くの公共施設が設置されており、老朽化対策が大きな課題だ。厳しい財政状況と人口減少が続く中で、利用需要が変わることも予想される。

公共施設の整備を計画的にすすめる事は将来の町づくりに不可欠な課題であり、第6次総合計画前期基本計画にも、公共施設の管理強化がうたわれている。

一方、詳細な調査と計画策定には多額の費用がかかるが見込まれる。

よって、長寿命化計画をつくる優先順位を決め、計画的に管理計画を策定するよう要望する。



改修工事中の荒神山町民体育館

### 町長

町は平成28年11月に、10年後を見通した「辰野町公共施設等総合管理計画」を策定した。これに基づき個別施設計画を策定しているが、専門家による詳細な調査が必要で多額の費用がかかるため、補助金などを活用して出来る施設から進めている。

建築後30年以上経過した公共施設が全体の59.2%を占め、多くが老朽化により支障が出始めている。人口減少・少子高齢化を見据えた施設運営や配置、財政状況を考えると、指摘の必要性を強く感じる。

要望を踏まえ、公共施設のマネジメント強化に取り組むとともに、「総合管理計画」の見直しを進める。

## 特別会計予算審査

### ◆国民健康保険特別会計

総額 20 億 3,970 万 7 千円

前年度比 2,968 万 7 千円増

長野県国民健康保険運営方針が改正され、保険料統一に向けたロードマップが示される。保険事業や医療費適正化の取り組みを積極的に行い、安定的な財政運営に努め、保険料統一に向けて具体化を図る。

**問** コロナ禍での検診委託料の内容は。

**答** 巡回型健診は、保健センターを会場に 2 週間 900 人を予定し、個別健診・医療機関健診では 700 人を予定している。令和 3 年度も健診費用 500 円とする。



辰野町保健センター

### ◆国民健康保険診療所特別会計

総額 499 万 7 千円

前年度比 24 万 3 千円減

患者数の減少及び訪問診療の減少による歳入減を見込み、国保会計等からの繰入れにより運営を行うが、引き続き診療所の運営について検討していく。

### ◆介護保険特別会計

総額 21 億 2,648 万 7 千円

前年度比 1 億 52 万 3 千円増

地域支援事業費では、1 億 184 万 2 千円を計上し、介護予防・日常生活支援総合事業や一般介護予防事業等を行う。介護保険料は据え置きとした。

**問** 生活支援コーディネーターや地域福祉コーディネーター配置のための予算がないが。

**答** 生活支援サポーターの中で意欲のある方に生活支援コーディネーターを有償でお願いしたい。また、町社協とも連携して地域福祉コーディネーター配置を考えている。

### ◆辰野病院事業会計

総額 23 億 9,874 万 9 千円

前年比較 5,384 万 7 千円減

地域包括病床の稼働率が 90%を超えている。増床も視野に増収を図る。薬品費ではジェネリック使用を 90%まで伸ばしてきたが、高額薬剤使用により 6,000 万円増を見込んでいる。訪問看護事業ではタブレットを使用した速やかな報告・情報共有を行い、利便性を図り、訪問件数を増加し、増収を考えている。

**問** 引き続き健診に力を入れるとのことだが、体制や内容の変更はあるのか。

**答** 胃カメラ検査を毎日できる体制を作っている。町内の事業所を訪問し、件数を増やしている。

**問** 泌尿器科の受診曜日を増やせないか。

**答** 月 2 回、隔週金曜日を追加し増やすことになった。



町立辰野病院

### ◆後期高齢者医療特別会計

総額 3 億 1,401 万円

前年度比 208 万 5 千円増

現在後期高齢者窓口負担割合について、2 割負担を新設する見直しが行われている。高齢化の進展により医療費の増加する中、制度の安定性を確保するために、保健福祉・国民健康保険と協力し、健康寿命延伸の為の事業に取り組んでいく。

以上、特別会計・事業会計予算の 5 議案について全員一致で可決すべきものと決しました。



## 条例審査

### ◆介護保険条例の一部改正

介護保険料の改定及び、税制改正により介護保険料や保険給付の負担水準等に関して不利益が生じないように、介護保険法施行令等の見直しに伴うもの。

**問** 負担水準等に関して不利益が生じないとは。

**答** 令和2年1月からの給与所得・公的年金等控除が10万円引き下げられ、基礎控除額を10万円引き上げた。これにより、収入金額に変化がないにもかかわらず、所得額が増加することで不利益が生じることが無いようにするため、給与所得及び公的年金に係る所得の合計額について、10万円を控除して得た額によるものとする。

### ◆債権の放棄について

平成15年から平成24年の間の入院・外来受診者で、居所不明や本人死亡による相続人不明、生活困窮による回収不能を理由とする町立辰野病院受診費用の一部負担金について、債権放棄の議会の議決を求めるもの。

**問** これまでの未払いへの対応は。

**答** 督促状を出し、連絡が来るのを待っていた状況だった。現在はマニュアルを作成し、外来受付と医事係との連絡体制を構築。受診時の面接などで分納相談や電話による督促を行っている。

### ◆指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

町が利用者の人権の擁護、虐待の防止等、ハラスメント対策、業務継続計画策定、感染症対策、地域や多職種連携などにICTの活用を認めるなど、必要な体制整備等の強化や義務づけを事業者に行う。



### ◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

介護報酬改定に合わせて、辰野町が指定する地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準について見直しを行うため条例の一部を改正。

**問** 認知症介護基礎研修の受講の義務付けとは。

**答** 介護に直接携わる職員のうち、医療・福祉関係の資格を持たない無資格者に対して研修の義務付けを行うもの。

以上、条例案4件は全員一致で可決すべきと決しました。

## 町長への要望

### ■地域包括ケアシステムの更なる深化・推進について

第8期辰野町介護保険事業計画・高齢者福祉計画の基本計画目標に高齢者の自立支援を掲げ、地域包括支援センターの体制整備、地域包括ケアシステムの深化・推進を図るとしているが、本年度予算からは生活支援コーディネーター等の構築が見えない。また、事業推進のための会議等が実施されていない。

事業の深化・推進を図るための専門部会による会議等の実施、及び、生活支援コーディネーター設置等の予算化を図ることを要望する。

### 町長

地域包括ケアシステムの深化・推進については地域課題を共有する場として様々な職種や団体、関係機関の方々に参画していただき、辰野町地域ケア推進会議を立ち上げた。一方、地域ごとに配置を予定している生活支援コーディネーターの人材確保に苦慮している。

今後は関係機関と連携して人材確保に努め、見通しが立ったところで補正予算等の対応をする。

# 第4次議会活性化委員会の活動報告

町民の皆さまに身近なより開かれた議会、住民自治を根幹としての議会を目指し、第4次議会活性化委員会を設置し活動してきました。新型コロナウイルス禍によって、取り組みが出来なかった活動もありましたが、辰野町議会活性化委員会の2年間の活動を報告致します。

## これまでの主な活動及び調査

令和元年 6月27日	第4次活性化委員会発足	
11月1日	議会活性化先進地視察（飯綱町議会）	 <p>▲タウンミーティング（小野）</p>
11月15日 11月16日	初 町民と議員のタウンミーティング（小野） 町民と議員のタウンミーティング（新町）	
12月18日	初 辰野高等学校生徒と議員の懇談会	
令和2年 2月14日	議会タブレット導入先進地視察（伊那市議会）	 <p>▲中学生議会</p>
8月26日	ほたるの里中学生議会の開催	
11月26日	議会タブレット導入先進地視察（南箕輪村議会）	
令和3年 1月29日	女性タウンミーティング <b>中止</b>	
2月19日	町民と議員のタウンミーティング（宮所・樋口） <b>中止</b>	

### 主な検討内容

- ◆政策サポーター制度設置の調査について  
現委員会では設置提案を見送る。
- ◆議員・議会活動の効率的広報の検討について  
議会広報編集委員会を通年の活動とする。
- ◆当初一般会計予算・決算の合同審査委員会設置について  
現状のとおりとする。
- ◆議会活動の周知について  
地元新聞の今日の行事欄に議会関係を掲載。
- ◆選挙公報について  
議会だより78号に2年目の決意表明として掲載。
- ◆辰野町議会議員研修会について  
長野県町村議会議長会より講師招き実施。

### 継続検討する活動・調査

- ◆議員定数
- ◆議員報酬
- ◆休日・夜間議会開催
- ◆女性タウンミーティング
- ◆女性議会
- ◆中学生議会
- ◆町民と議員のタウンミーティング
- ◆政策サポーター制度
- ◆辰野高等学校生と議員との懇談会



# 女性タウンミーティング中止に伴う 参加予定者からのご意見



昨年度予定しておりました女性タウンミーティングが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。そこで、ご参加を予定しておりました皆さんにテーマ毎にご意見やご要望を伺ったところ、多くの声を寄せていただきましたので、その一部を紹介させていただきます。皆さんの声を議員活動に役立ててまいります。

テーマ	ご意見・ご要望
福祉・医療の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親の介護に不安があり相談先が欲しい</li> <li>○弱者の交通手段を考えてほしい</li> <li>○医師の在宅医療、訪問介護の取り組みを希望</li> <li>○役場玄関駐車場のスロープの壁が邪魔、駐車場に屋根がほしい</li> <li>○高齢化しても住み慣れたところに住み続けたい</li> <li>○病院と薬局の連携により、病院の受診なしで薬局から薬をもらいたい</li> <li>○辰野病院の産科小児科の常勤化と効率運営を望む</li> <li>○ご近所同士でゴミ出し等助け合いが出来ればいい</li> </ul> 
人口減少問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○移住者に魅力発信と支援が少ない</li> <li>○辰野町住民の町への愛着が重要</li> <li>○核家族だが購入しやすい土地やアパートを増加希望</li> <li>○今ある資源（遊休農地）を活かす</li> <li>○地域の人と協力して移住促進</li> <li>○買い物や通院が不便、道路網の早期改善を求む</li> <li>○出産、育児の環境整備と児童館を希望</li> </ul> 
子育て支援・教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域で不登校や引きこもりの子に支援の場がほしい</li> <li>○子育て支援センター等の相談先の充実</li> <li>○20人前後の少人数学級を希望</li> <li>○学校給食の食材の有機化</li> <li>○子供の遊び場に公園を増やす</li> <li>○荒神山公園の遊具周りにトイレ、手洗い場を希望</li> <li>○コロナ禍で保育園等の懇談会が減少、顔合わせが出来ない</li> <li>○児童館を要望</li> <li>○子育て支援センターのスタッフ、助産師の充実を希望</li> </ul> 
町政・議会に対するご意見・ご要望等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開かれた町政、議会には町民が町政と議会に関心を持つことが先決</li> <li>○フューチャーセンターを町民対話の場に活用</li> <li>○議員が身近に感じられ議会の傍聴に行きやすい</li> <li>○議会だよりは読みやすい</li> <li>○役場の中で幼児にやさしく接してくれて感謝</li> <li>○小さな要望や疑問を気軽に質問でき返答が得られる仕組みが欲しい (なんでも相談室希望)</li> <li>○ハラスメント行為の認識が弱い。田舎だからと甘くみず、転入者が不快に思わない意識付けを希望</li> <li>○議題が過去と同じで最初からの話し合いとなる。会議で出た意見を次に活かした形にしてほしい</li> <li>○男女共同参画社会の推進を認識した議員活動を望む</li> </ul>

# 議会ペーパーレス はじめの一步



辰野町議会では「タブレット」等の先進事例による「議会ペーパーレス」導入前に、議員が身近なIT環境に慣れることが必要となった。

## 現状の課題

- ◇事務局のE-mailが届かない
- ◇多くの資料が自宅FAXに来てパンクした
- ◇自宅FAXが壊れ事務局の通知が受け取れない
- ◇スマホは操作が難しい
- ◇議会資料は紙が多い
- ◇データのデジタル化が遅れている
- ◇議員間のITリテラシーの差が大きい



## 取り組んだこと

- ※スマホ環境の整備
- ※検討委員会メンバーによる E-mail の送受信と印刷環境の構築サポート
- ※SNS を利用し情報共有を図る



## 成果

- ※全ての事務連絡が E-mail に切り替え、FAX を廃止
- ※全議員が SNS を活用し、委員会等で情報を共有



## 今後の進め方

- ※議員の IT リテラシー向上
- ※クラウドサービスを活用した会議資料の共有
- ※行政と積極的に情報交換しペーパーレス推進

### 次回定例会のご案内

# 6月定例会予定

開 会	5/31(月)
閉 会	6/16(水)
一般質問	6/7(月)・8(火)
委員会審査	6/9(水)・10(木)

※確定した日程は新聞等でご確認ください

10名の議員が質問

町に問う!



いっ

一

ばん

般

しつ

質

もん

問

一般質問には10名の議員が登壇いたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけておりますので、是非各議員の内容をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する質問	
新型コロナウイルスワクチン接種及び感染対策の拡充について	瀬戸
新型コロナウイルス対策とワクチン接種へのアプローチについて	樋口
コロナ禍における子どもの学びに対する意欲へのサポートについて	松澤
ホテルが飛び交う自然豊かなまち(風土の保全・誇りと愛着)	
坂沢地区への最終処分場建設計画について	向山
太陽光発電施設計画と条例の運用について	向山
みんなが活躍できるまち(協働・共創・地域づくり)	
ど真ん中プロジェクトについて	舟橋
荒神山スポーツ公園について	池田
移住定住施策における住宅確保について	樋口
人口減の分析について	松澤
同性婚、LGBTQなど社会的少数者への配慮について	向山
女性活躍推進事業について	山寺
婚活にAIの導入を	山寺
いつまでも健やかに暮らし続けられるまち(福祉・保健・医療・介護)	
生活困窮者への支援、貧困対策について	瀬戸
高齢者への補聴器購入補助について	瀬戸
国民健康保険の傷病手当金及び傷病見舞金について	瀬戸
第8期介護保険事業計画・高齢者福祉計画について	樋口
脱炭素社会の推進について	津谷
続・こころの健康について	津谷
山間地の買い物弱者支援について	小澤
次世代を担う人材が育つまち(子育て・教育・生涯学習)	
町長私案の小中学校のキャンパス化構想について	舟橋
川島小廃止、町内小中学校の将来像の検討について	吉澤
誰一人として取り残さない教育とは	樋口
小中学校の教育方針について	松澤
子育て支援と教育について	津谷
川島地区の公平な通学環境整備について	小澤
町長私案と教育に対する課題について	小澤
町内小中学校統合の町長私案について	山寺
活力と魅力ある仕事のあるまち(産業振興)	
マイナンバーカードの普及促進について	瀬戸
辰野町の活性化のための森林活用と産業振興について	池田
農業振興ビジョンの策定について	向山
安全で快適な暮らし続けられるまち(都市基盤・防災防犯)	
古紙リサイクルステーションについて	吉澤
交通安全協会解散後の対応について	向山
未来志向の行財政改革	
辰野町第6次総合計画について	池田
死亡手続きの一元化について	津谷
行政相談ワンストップ窓口の開設を	山寺



・全ての項目はホームページで閲覧できます。  
・質問は「辰野町第六次総合計画前期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。

## 川島小 存廃問題を振り 返って

町長

移住者は増加、川島小の児童数は横ばいで増加しなかった



舟橋 秀仁 議員

### 町長私案の小中学校キャンパス化構想

問 3年間、教育委員会と協議しなかった理由は。

町長 川島小を必要する子供たちがいる。その背景に何があるのかを問い続け、今回の構想をまとめられたのが発表直前になり、教育委員会と協議する時間を作れなかった。

問 キャンパス化によるメリットとデメリットは。

町長 メリットは児童の個性に合わせ学校を選択でき、また各学校の特色も伸ばせる。デメリットは地域との繋がりが希薄になる。また、一部の学校に希望が集中する、通学手段の確保が難しいなど。

問 児童が学校を指定できるとしているが、①児童数の管理②教職員の配置やスクールバスの運営③PTAの運営は。

町長 ①は実績のある学校が他自治体にある。③は現在の川島小を見ても、保護者が積極的に参加しているのでさほど問題はないであろう。一方②に関しては、非常に課題が多い。

問 現在の川島小の運営に関わる費用とキャンパス化構想の予想される運営費用は。

町長 教員の費用については県が負担している。川島小にかかる経常的経費は、令和元年度3,773万円（町内5小学校中12.6%）。キャンパス化構想に伴う運営費用の算出は行っていないが、校舎の老朽化も進んでおり、その改修には億単位の費用がかかる。

要望 4月に結論を出す際、教育委員会及び関係者と協議し、将来に向けた具体的プランも示されたい。

### ど真ん中プロジェクト

問 プロジェクトの現状と課題は。

課長 一年前にど真ん中未来会議を立ち上げたが、コロナの影響で停滞。従来まで町は金銭的補助をしてきたが、今後どのように関わっていくのが課題。

問 来年度の具体的施策は。

課長 一つ目は町民と町が想いを共有するための場づくり、二つ目は地域づくり活動の担い手同士を繋ぐコーディネート事業。



ど真ん中未来会議 2021

## 統合ありきでなく 当事者の声を聞き 幅広い検討が必要では

町長

私案は教育会議への提案。皆で検討を



吉澤 光雄 議員

問 川島小は小規模校の利点や豊かな自然環境、住民支援を生かし、町内他の小学校と同じくかけがえがない学校だと思うが、評価は。

町長 地域を生かした学校で、思いやりや表現力のある子が育ち、住民の心の支えになっている。

問 川島小への町財政負担年間約2,400万円は、町が毎年自由に使えるお金約55億円の0.4%。家計に例えれば年収550万円の家庭で年24,000円の負担だ。かやぶきの館に約3,000万円など公共施設のために毎年多額の支出をしているが、学校は優先施設なのでは。

町長 どこに住んでいても一定水準の教育が受けられることが憲法に保障されており、「児童1人当たりの費用が不公平」は、趣旨から離れる。

問 川島区では、子連れ世帯が転入して地域の雰囲気が変わったと聞く。学校の存廃と地域づくり・町づくりは関連していると考えがどうか。

町長 川島地区は若い世代に選ばれる好循環が続いている。小学校の廃止は強烈な印象付けになる。



川島小体育館

問 学校の統廃合を決める主人公は町民。教育委員会だけで決められる問題ではない。町長が議会に条例を出し、議会が民意を集約して議決して初めて決まる仕組みだが、この関係をどう考えるか。

町長 教育委員会は教育方針決定や執行を担い、町長は予算や議案を議会に出す。総合教育会議は協議の場で、議会はチェック機能を担っている。

問 保護者や地元は町へ川島小存続を繰り返して要望している。統合ありきでなく、全ての子どもたちが生き生きと学べる学校をどう作るかという立場で、多くの町民が参加した検討が必要ではないか。

町長 私案をきっかけに今後の教育に何が必要かみんなで考え、より良い教育環境が実現することを願う。

瀬戸 純 議員



高齢者の新型コロナワクチン接種場所までの移動方法は

**町長**  
必要な方のみ乗り合い方式のタクシーを検討中

**問** 新型コロナワクチン接種予約方法等、希望する全ての高齢者が接種できるようやさしい対応を。

**課長** 電話とLINE、町ホームページでの予約とする。電話が込み合うと思うが、民生委員などの力を借りて対応していく。

(後日、LINE 予約は個人情報保護の観点から見合わせとなった。)

**問** 訪問・通所介護事業所職員も、高齢者施設職員同様に優先で接種を。

**課長** 接種の順番は国で決められてくるので、動きがあり次第接種を行いたい。

### マイナンバー制度の利点だけでなく危険性の広報を

**問** マイナンバーカード発行促進とのことだが、既に「なりすまし」「詐欺」による被害が出ている。カード取得は任意であり、危険性も伝え町民を守り、町民の役割。様々な方法で注意喚起を。

**課長** 周知強化していく。



総務省・消費者庁の注意喚起チラシ

### 生活保護申請は権利。申請に壁をつくらない対応を

**問** 「扶養照会」調査が申請の大きな壁となっている。申請者に寄り添った対応と、権利であることの広報を。

**課長** 調査は「上伊那福祉事務所」で行っているが、受付は町で行っている。ホームページの整備等も考える。

### 高齢者への補聴器購入補助を

**課長** 近隣自治体でも補助が広まっている。財政措置ができればと考えている。

### 国民健康保険の傷病手当金・傷病見舞金の支給期間延長を。変更等があれば速やかな広報を

**課長** 9月30日まで延長する。ホームページ等の変更も速やかに行っていく。

池田 睦雄 議員



辰野町第6次総合計画への思いは

**町長**  
町民一人ひとりが主体となる共創のまちを実現する

**問** 町の将来像を「一人ひとりの活躍が作り出す住み続けたいまち」とした背景と思いは。

**課長** 予想以上の人口減少に創生総合戦略で取り組み、人口減少に歯止めをかけてきた。町民が住み続けたい、町外へ出た若者が帰りたい、町外の人たちが住んでみたいと思える町をつくりたい。10年後には町民一人ひとりがまちづくりの主体となり、問題意識でつながり協力し合う共創のまちを目指したい。

**問** 日本のど真ん中まちブランドづくりは。

**課長** ど真ん中みらい会議 2021 であらゆる取組みをする。

### 森林率 86%の森林活用で町の活性化を

**問** 森林環境譲与税の見込交付額と使い道は。

**課長** 令和元年度開始から毎年交付。令和6年度は3,300万円を予定。用途は間伐材整備や林地台帳等整理、担い手育成他事業。

**問** 森林整備の担い手に地域おこし協力隊複数名の採用は。

**課長** 移住人口増と地域自伐型林業につながり、考えたい。

**問** 未来型里山構想は。

**課長** 構想はないがデジタル社会の里山は、森林の持つ機能や恵みを広く活用する施策で未来を考えたい。



雨沢地区の山林倒木

### 荒神山スポーツ公園のランドデザインは

**課長** 荒神山スポーツ公園基本計画で施設改修を行っている。

**問** 町民のスポーツ振興の場となっているか。

**課長** 団体や個人に朝から夕方まで幅広い利用がある。

**要望** 「日本のど真ん中まち」の商標登録を。荒神山スポーツ公園の外周に、高齢者や親子向け遊歩道設置と平日の利用策を。

## 学校に通えない子ども の数は

### 教育長

小学校は片手で、中学校は両手で数えられる人数



樋口博美  
議員

### ワクチン接種の対応

**問** 接種体制は。

**課長** 医師2人、全体で15人くらいの体制で接種。

**問** 病院への移動手段は。

**課長** タクシー利用で検討している。

**要望** 町民へ丁寧な情報提供を。

### 第8期介護保険事業・高齢者福祉

**問** 高齢者実態調査から見える現状は。

**課長** できるだけ自宅で過ごしたい人が多い。

**問** 7期の反省を受けての8期、その課題は。

**課長** 地域包括支援センターを中心に困りごとの解決をしていきたい。

**問** 第2層の地域支援コーディネーターが出来なかったのは。

**課長** 人材の確保に向けて努力していく。

**問** 社会福祉協議会との連携は。

**課長** 社会福祉協議会は重要なパートナー。地域福祉コーディネーターの設置を計画しているので、地域の困りごとの解決に取り組みたい。

### 誰一人として取り残さない教育とは

**問** 総合教育会議の役割は。

**教育長** 教育の中立性、継続性、安定性を確保するため、教育の方向性を示す場。

**問** 不登校の解決に向けての取り組みは。

**教育長** 子どもを理解することから。多くの人の関わりで子どもに寄り添う。

**問** 不登校の子どもたちの居る場所は。

**教育長** 原因が様々。環境を変えることで解決することもあるが全てがそうはならない。

**問** 不登校解決へ向けて議論は。

**教育長** ICTを利用しながら子どもの学びを考えていく。

**問** 誰一人として取り残さない教育は。

**町長** 学校へ行けない子ども、家族を救いたいという思いがある。

**教育長** 子どもの個性に寄り添うことが大切。

**要望** 学校へ通えない子どもを持つ保護者の言葉を聞いてほしい。



中間教室 わたげ

## コロナ禍での独自の 奨学金制度を

### 町長

まずは住民への総合的な経済支援を進める



松澤千代子  
議員

**問** 大学や専門学校へ進学した子どもたちへの仕送りが、コロナのための不況によって滞ってしまった家庭がある。学生自身もアルバイトで補うつもりでいたが、世の中の情勢でできない状況になっている。学びの意欲を途中で断念しなければならない子どもたちへの支援は。

**町長** コロナ禍でも仕送りをしなければならない家庭の苦しい経済事情は経験上からもよく分かる。自治体単位の支援策はほぼないに等しいが、経済支援となると財政上の優先順位として、すべての町民への総合的な支援が最優先となる。また次代を担う人材育成については、近隣の市町村のUターン支援策を調査しながら、その効果を見極めつつ検討していきたい。



信州豊南短期大学

**問** 来年度から施行される中学校新学習指導要領とは。

**教育長** 方針としては、何が分かったかではなく何ができるようになるかである。また外国語の授業はコミュニケーションが中心となる。プログラミングが新たに取り入れられ、道徳が教科となることが特徴。

**問** 他市町村に先駆けて教科担任制を導入した内容と成果は。

**教育長** 単級の小規模校では県からの教師の配置はないため、複数の学年でより得意な教科を担当して専門性を高めている。児童たちは今までよりも授業が楽しいと喜んでいる。来年度は理科の専科教員2名を町費で確保しさらに充実させる予定。

**要望** スクールカウンセラーや学級担任、教科担任の間で連絡を密にとり、心に寄り添う教育を。



向山 光 議員

太陽光発電、  
区長の同意ない  
場合は

**町長**  
地域の同意がないと、  
許可できない



津谷 彰 議員

脱炭素社会に向け  
たゼロカーボンの  
推進と取り組みは

**町長**  
食品ロス削減、ごみ  
減量化等に取り組む

**問** 太陽光発電施設建設に際して、土地所有者等の責務をどのように周知していくのか。

**課長** 土地所有者等には災害防止のために協力をお願いしたい。環境審議会で効果的な周知の方法、内容を協議し、力を入れて取り組みたい。

板沢最終処分場問題、町の反対姿勢を明確に

**問** 湖周行政事務組合の会議では「板沢の地盤は固くて最適地」などと言われている。「町にとって大切なものを守る」という町長の考えはきちんと伝わっているのか。

**町長** 町は「地下水等の調査結果に関わらず建設に反対」という期成同盟会と同じ考え。それは湖周組合の首長に十分に理解してもらっていると思う。調査受入れの時にも計画の白紙撤回を申し入れた。

第6次総合計画、社会的少数者への配慮は

**問** 同性婚やLGBTQなど社会的少数者への配慮が求められている。不利益を避けるための対応を。

**課長** 同性婚者に対するパートナーシップ証明は、先進地の事例を参考に検討したい。町営住宅入居時の同居親族証明も併せて検討したい。届出書等で性別記載が不要なものは省略していきたい。

**問** 農業振興ビジョンの策定は。

**課長** 消費者の会の代表などにも加わってもらって、5月に策定予定。魅力ある農業の創出、消費者に選ばれる農産物の生産等を目指していく。

**問** 辰野町交通安全協会解散後の対応は。

**課長** 年内を目標に新たな組織について検討進めていく。イベント等への対応は、地区でも警備を業者に依頼する等の検討してもらいたい。



妥協などによる街頭指導

**問** 辰野町における「気候非常事態宣言」の表明は。

**課長** 長野県表明の「2050ゼロカーボン宣言」に賛同した。今後、他の自治体の情報を得て検討する。

**要望** 町ホームページなどにより、脱炭素社会やゼロカーボンの周知、家庭で取り組める具体的な事例等の取り上げを。

こころの健康への推進状況は

**問** 自殺対策強化月間の取り組みは。

**課長** 広報たつのに各種相談窓口の掲載や、図書館に特設コーナーを設置し、関係書類の展示や啓発グッズを展示。また、心の健康づくり講演会を実施。自殺者数の減少を図るため、自殺対策強化事業の取り組みの一つで、ハイリスク者に対して包括的な相談を実施するため、上伊那自殺対策相談会が開催された。



メンタルチェック こころの体温計

**問** 教育現場における相談体制の状況は。

**教育長** コロナ禍で報連相が十分ではなかった。担任だけの責任ではなく、チームでの対応を基本としている。SOSに気付くアンテナを持つことや、支援員などと共に子どもたちの悩みに寄り添って対応していく。

**問** 独居高齢者や在宅介護をされている家族の対応は。

**課長** 高齢者への総合相談事業においても心の相談件数が最も多い。民生委員やケアマネジャー等、様々な方から情報収集をして相談体制を取っている。

**問** 女性活躍推進プロジェクトへの紐付けは。

**課長** 気兼ねなく相談できる体制として、たつのも女性仕事相談室を開設し、各分野の窓口へ橋渡しをする。

子育て支援と教育について

**要望** 男性育児休暇の取得を啓発して、積極的な育児や家事などの推進を。

川島から通学する  
児童に町営バスの  
利用、通学補助金を



小澤 睦美 議員

**町長**  
公平性の観点から  
早期に改善したい

#### 川島地区の公平な通学環境の整備を

**問** 特認校制度を利用して川島小学校に通学している児童に対しては、町営バスの利用、バス代の補助金が支給されている。しかし、川島区から区外の小学校に通学している児童に対しては、バス利用も補助金も支給されていない。不公平では。

**町長** 現在の通学方法と補助制度は、公平性に矛盾を感じている。早期に改善したい。

**問** 川島地域に学校選択を認める特定地域選択制或いは町内1学区制導入の考えは。



町営バスを利用しての通学

**教育長** 学校と地域の協力を重んじるコミュニティスクールの観点から、現在の通学区制度を堅持したい。

#### 町長私案と教育に対する課題

**問** 総合教育会議は、協議と調整の場であるはず。町長の平成30年3月26日の3年間の川島小学校存続宣言、また今回のキャンパス化構想等、町長の一方的な私案の発表は、総合教育会議の趣旨に反しているが、教育長の考えは。

**教育長** 教育委員会と町長の職務権限は法律で規定されている。私案をスタートに協議し、一致点を見出す努力が必要。ただ、今回の件は、1月の早い段階に教育委員会に相談があれば、また違った協議が出来たのではないかと考えている。

**問** 教育の政治的中立性や継続性・安定性の確保が求められていることから、町長が公立小学校の存廃を、総合教育会議の議題に挙げるべきではないとされているが、町長の考えは。

**町長** 教育を行うための諸条件の整備の一つの案として提言をしたつもりである。

#### 山間地の買い物弱者に対する支援事業導入を

**問** ドローンを活用して、食料品や日用品等の買い物を店舗に行かなくても出来るシステム開発は。

**課長** いくつかある買物弱者支援事業の中で、地域に最も効果がある事業を導入していきたい。

町長私案の  
キャンパス化構想の  
経緯について



山寺 はる美 議員

**町長**  
3年間の取り組みの中で  
選べる学校づくりを考えた

**問** 町長私案のキャンパス化は、いじめや不登校に効果があるか。

**町長** 個性や特性に合わせた教育ができ、選べる学校づくりで不登校などの悩みも解決できると考えた。

**問** 4月の総合教育会議で再度発表する町長の考えは、町教育委員会としっかり話し合って発表される意思を示されたが、それに間違いはないか。

**町長** その通り。



第2回総合教育会議の様子（一般傍聴42名）

#### 女性活躍推進プロジェクト

**問** 女性活躍推進プロジェクト設置の目的は。

**副町長** 辰野町は、特に若い女性の転出が多い。女性が活躍し、暮らしやすい町づくりが狙い。プロジェクトチームで支援企画を考えている。専門部署も設けて対応したい。

**問** 具体的な事業は。

**課長** 意識調査で相談や交流の場、仕事の情報を求める声が多く、女性しごと相談室を開設した。来年度は女性セミナー、子育て応援講座も開きたいと計画している。

#### 婚活にAIの導入を

**問** 婚活事業にAI（人工知能）を導入する考えは。

**課長** 町単独では費用面の問題があり、登録会員が少ないと診断がうまくいかない場合がある。まずは町の結婚相談に登録してもらい、県のAIマッチングシステムと提携して活用する。

**要望**

町の社会福祉協議会に委託している結婚相談は年々登録者数が減っている。少子化が進む中で婚活事業は行政が直接取り組む必要がある。婚活プロジェクトチームの設置を要望する。

# 地域おこし協力隊の皆さんからの声

令和3年3月で3年間の任期を終え、4人の地域おこし協力隊の方が退任されました。3年間辰野町のためにご尽力いただき、本当にありがとうございました。皆さんのますますのご活躍に期待しております。



後藤 稔さん



議会傍聴をして、議員の問題提起に対して行政は、どんどんぶつかっていく迫力がほしいと感じた。行動として応える姿こそが、元気のある町として栄えていくのだと思う。今年度は、大人も子どももフレイル対策として「家にこもらず外に出る」を目指していきたくて考えている。外で遊ぶ、外の空気を吸う、そんな元気な人たちが溢れる町にしていきたい。

苫米地花菜さん



議会がもっとオープンだったらいいのと思うし、世代間の交流も少ないと思う。他国には、飲みながら自由に意見交換ができる場所や機会があるという。それらを参考に、例えば子ども議会も一度だけではなく任期を決めて何回かやってみるとか、また大人の町民議会もいいのではないだろうか。今年度は集落支援員として17地区全域で地域計画を振り返り、更新していく予定。

木建美智子さん



移住の目的の一つに美味しいものを食べたい、上質なものを食べさせたいということがあった。子育てをしながら益々その思いが強くなってきている。今後も、我が子に上質な学校給食を食べさせたいという親心を基本として、味の良い地場産食材を使い、地消を念頭に置いて地域の経済を豊かにすることを目標にしていく。地元愛は食育、食生活が基本だと考えている。

木建 景さん



遊休農地や耕作放棄地を放っておくことはできないし、猶予はまったくない。これからも移住定住の仲介を推進し、田舎暮らしの魅力と農業を結びつけて発信していきたい。地域のルールに馴染めるかどうかという事もあるので、住所を移す前に自身で確認してもらおう準備を進めている。有害鳥獣駆除については最終段階の、販路の開拓開発を進めていくつもりだ。

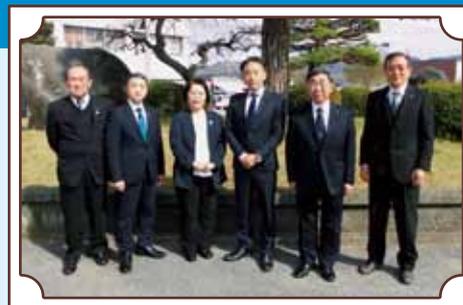
## 編集後記

2年間の「議会だより」制作を振り返って

あっという間に過ぎた、試行錯誤を重ねた2年間でした。少しでも町民の皆さんに議会活動を知っていただくために、縦書きから横書きへ、また写真も多用し、見やすい紙面づくりに努めてきました。

昨年はコロナウイルスの影響で計画しておりました町民の皆さんとの対話の機会が減少しました。思うような活動が出来なかったことは心残りですが、今年こそは多くの皆さんの声を町に届け、議会だよりでも活動の様子を分かりやすく伝えてまいります。

議会広報編集委員長 舟橋秀仁



議会広報編集委員会

(左から) 池田睦雄、津谷 彰、松澤千代子  
舟橋秀仁、小澤睦美、吉澤光雄

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。